

体重減少と各種パラメーターの 関係について

(医) 社団つばさ つばさクリニック

○内田広康 横関美枝子 大山恵子 諸見里仁 大山博司

はじめに

透析患者の低栄養は重大なリスクファクターのひとつである。栄養障害の結果として起きる体重減少と、透析患者の栄養評価指数として有効性が報告されている、GNRI (geriatric nutritional risk index) を代表とする、各種パラメーターとの関係について比較検討した。更に、体重が減少した患者に対して栄養指導と透析条件の見直しを行った結果について報告する。

方法 1

当院で安定した維持透析施行中の患者74名を、一年間の体重減少率が2%以上あった群をA群(31%)、その他をB群(69%)とし、GNRI、nPCR、摂取カロリー、Cr-Index、IP、Hbについて比較検討した。

対象

平均年齢 : 63.6 $\pm$ 13.1歳

男性/女性 : 56名 / 18名

非DM/DM : 42名 / 32名

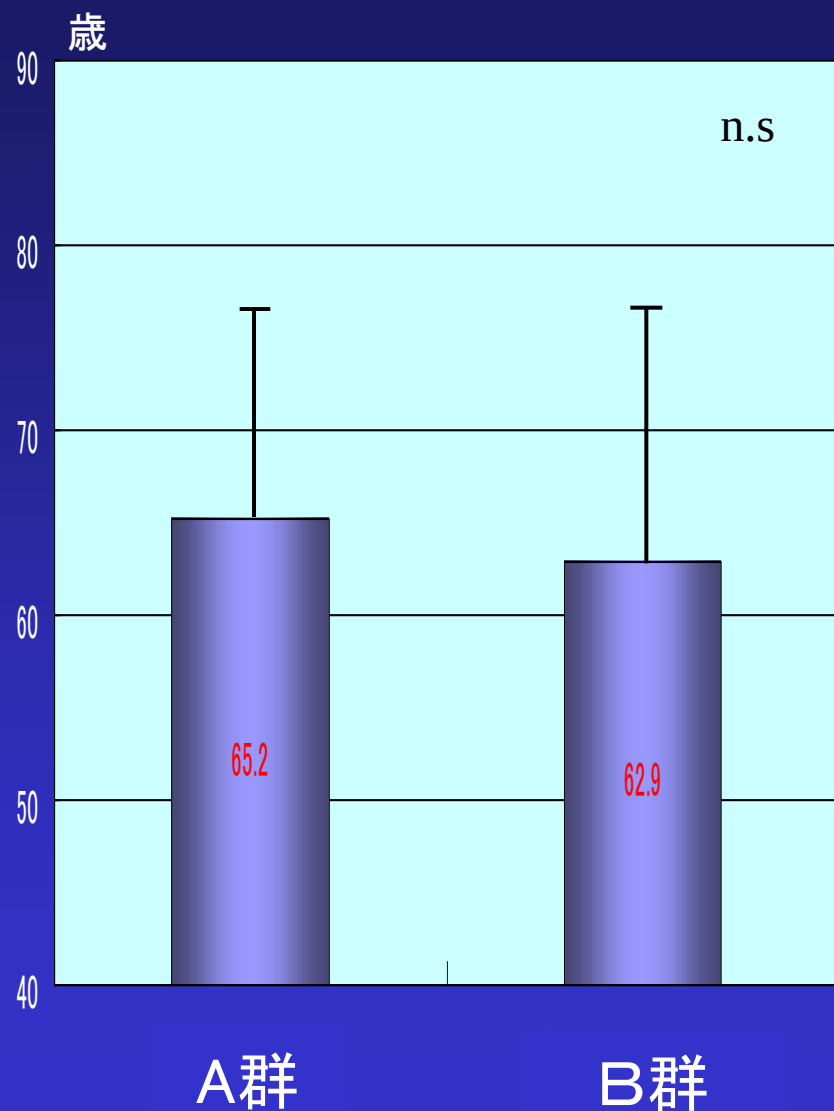
透析暦 : 57.1 $\pm$ 37.9ヵ月

GNRI : 96.0 $\pm$ 6.9

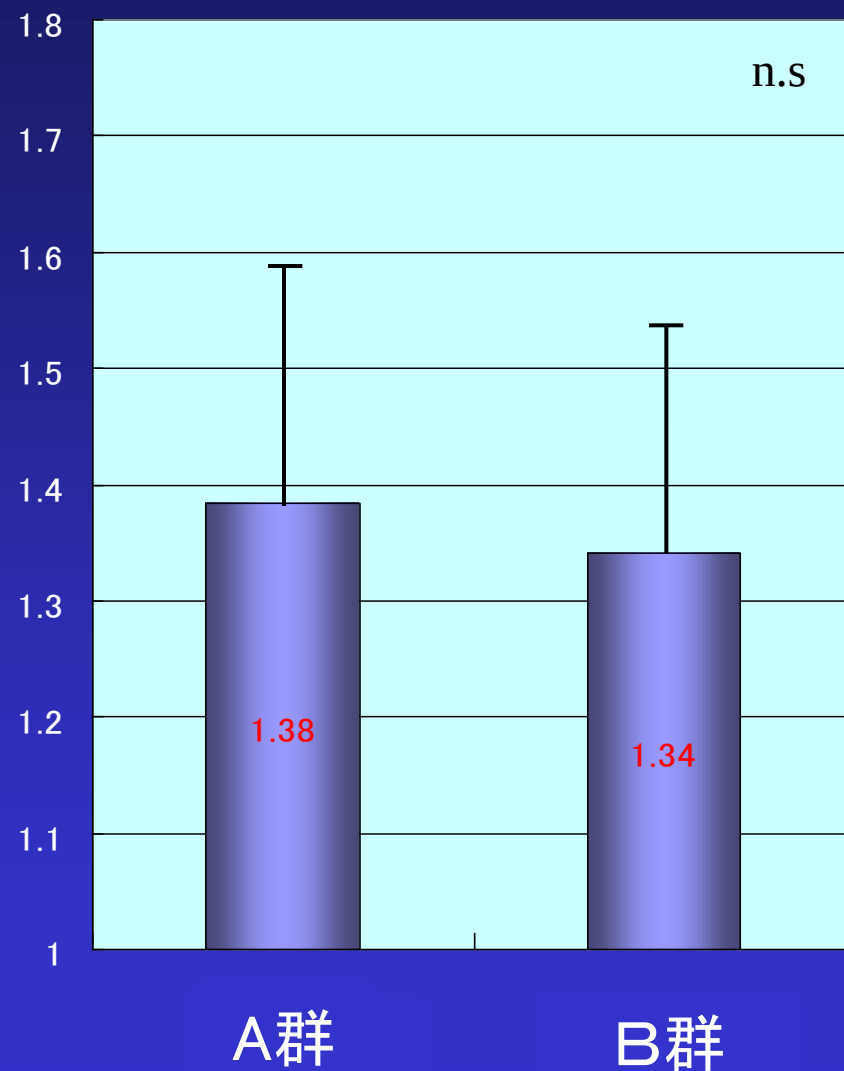
BMI : 21.8 $\pm$ 4.17

nPCR : 0.87 $\pm$ 0.14 g/kg/day

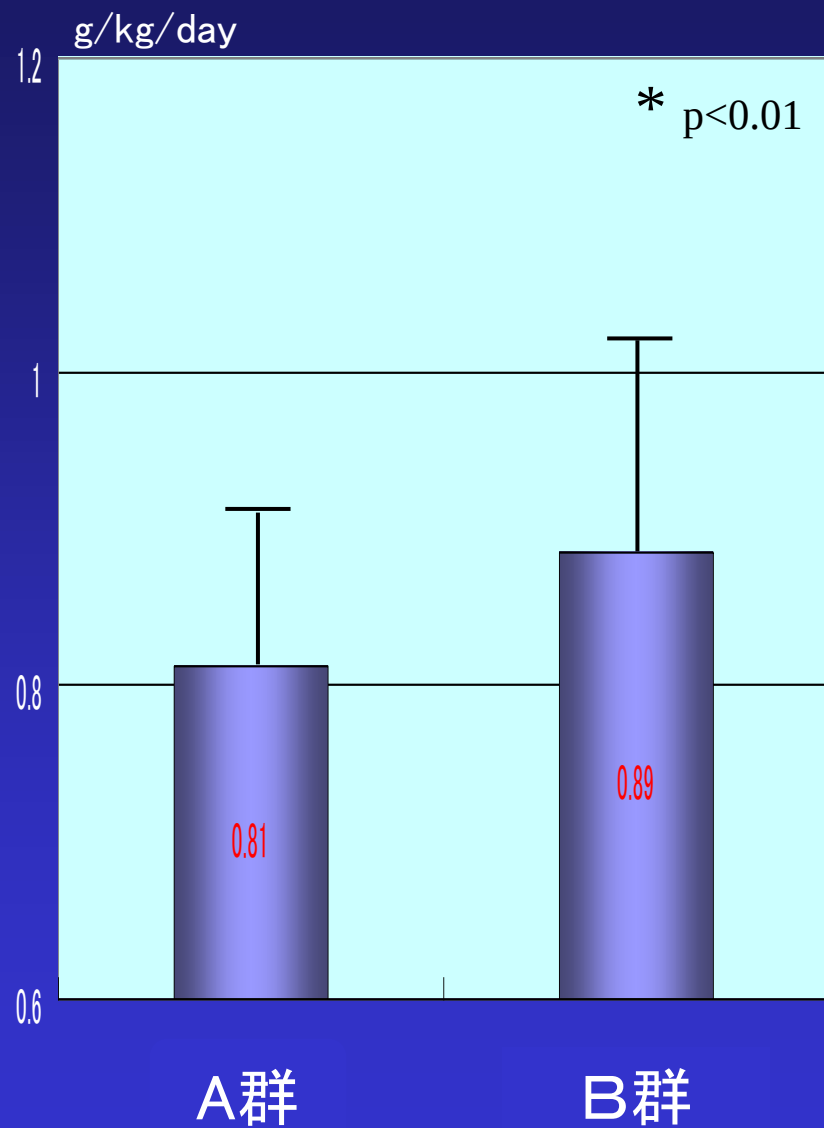
平均年齡



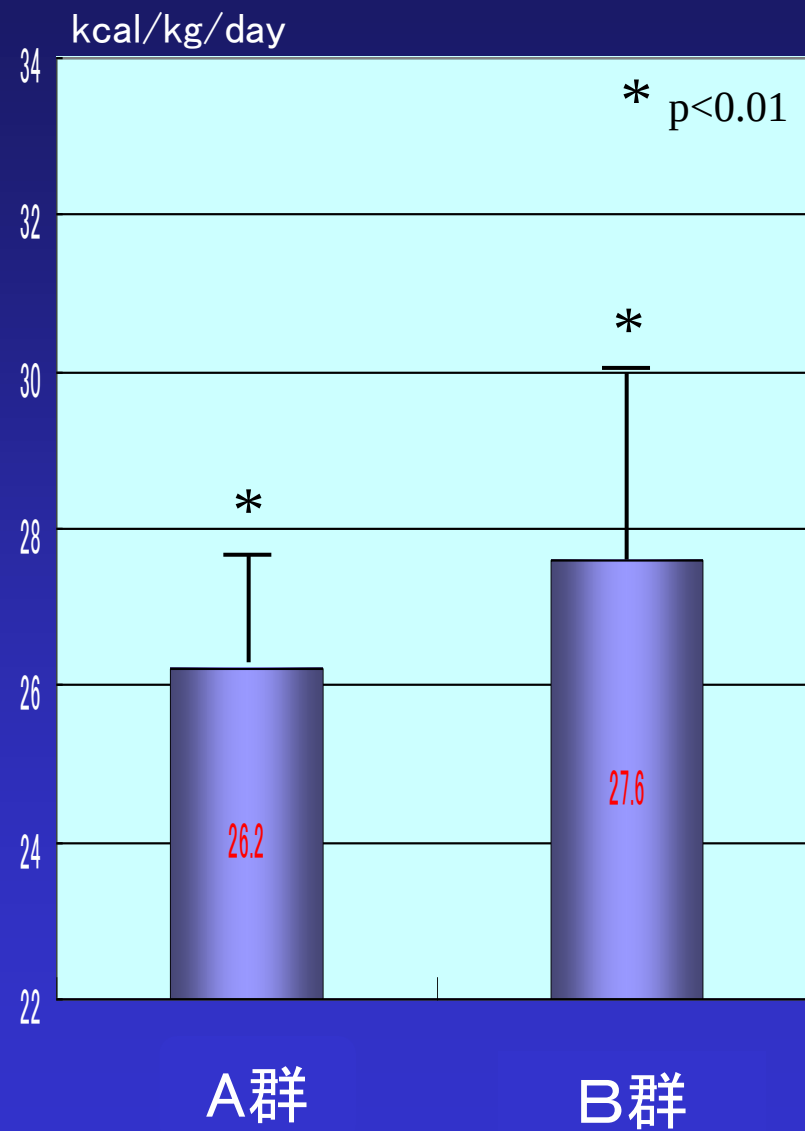
Kt/V



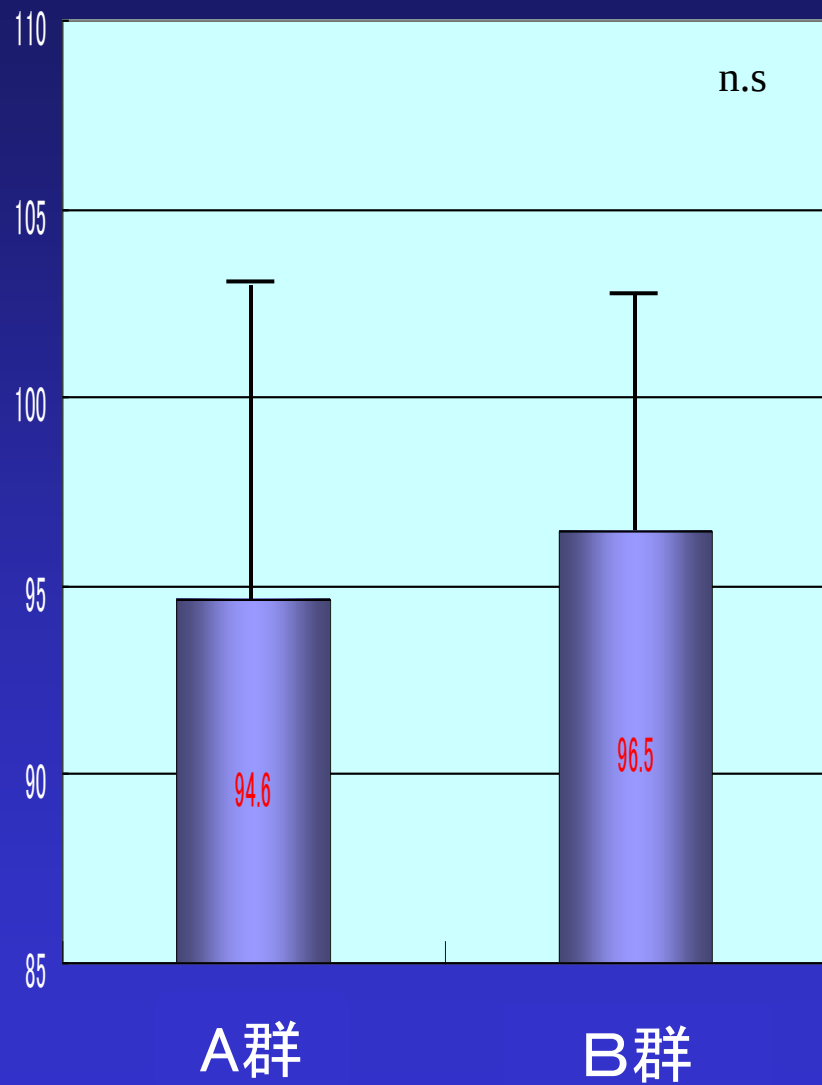
nPCR



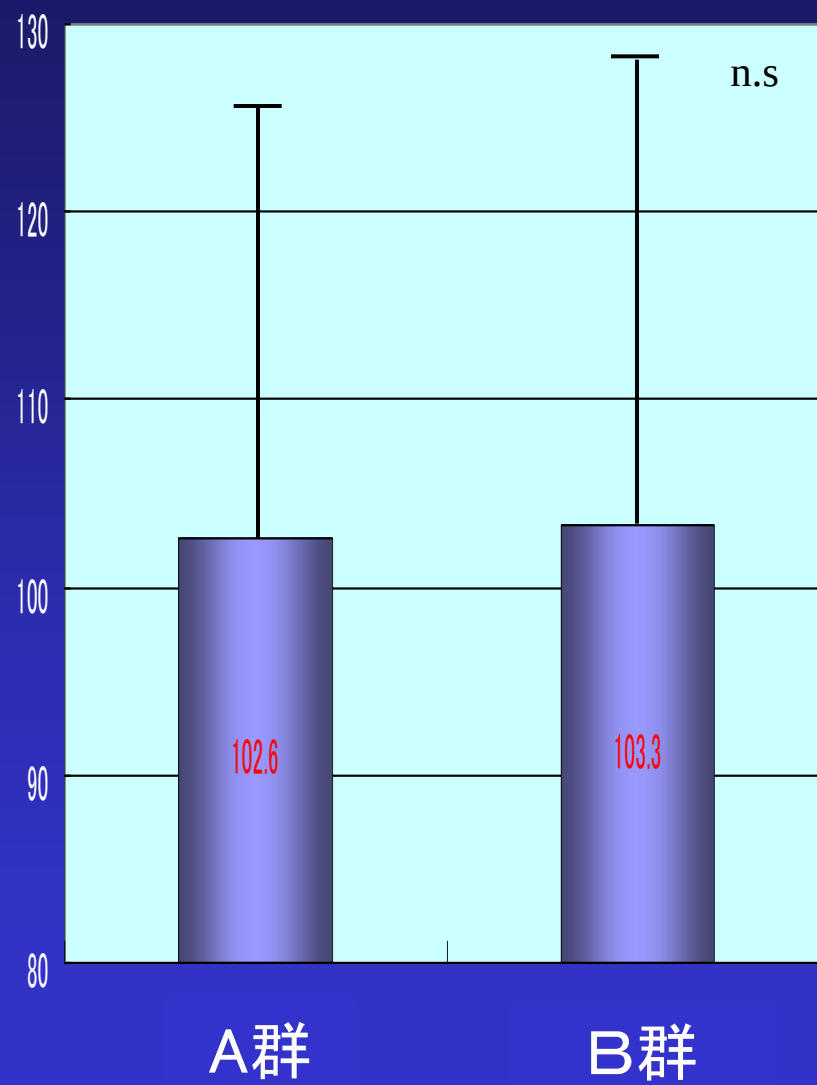
摂取カロリー



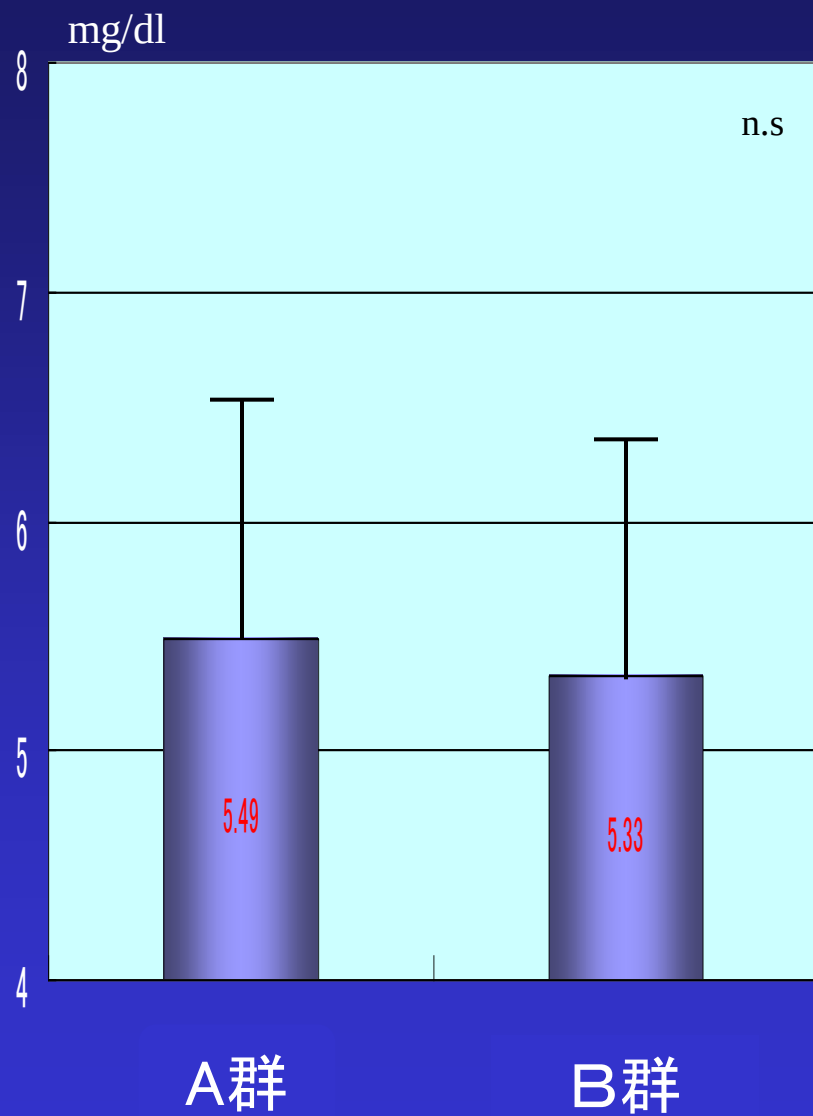
GNRI



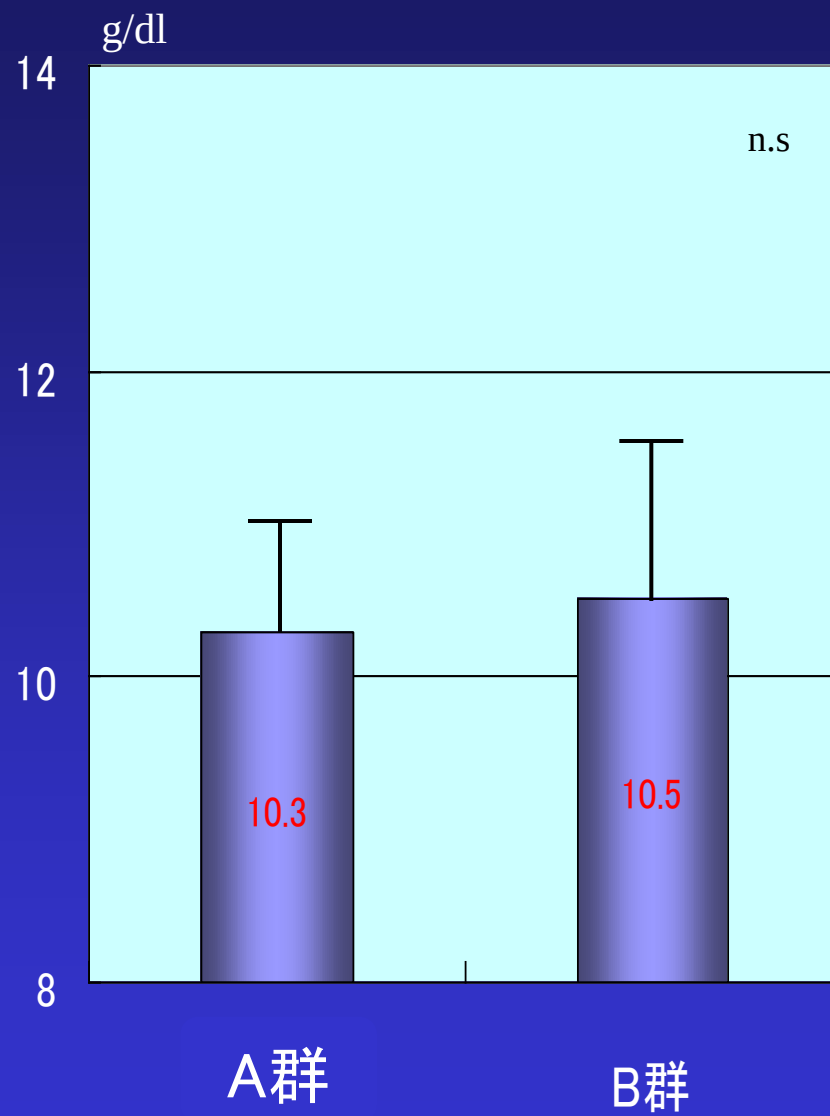
Cr-Index



IP



Hb



まとめ 1

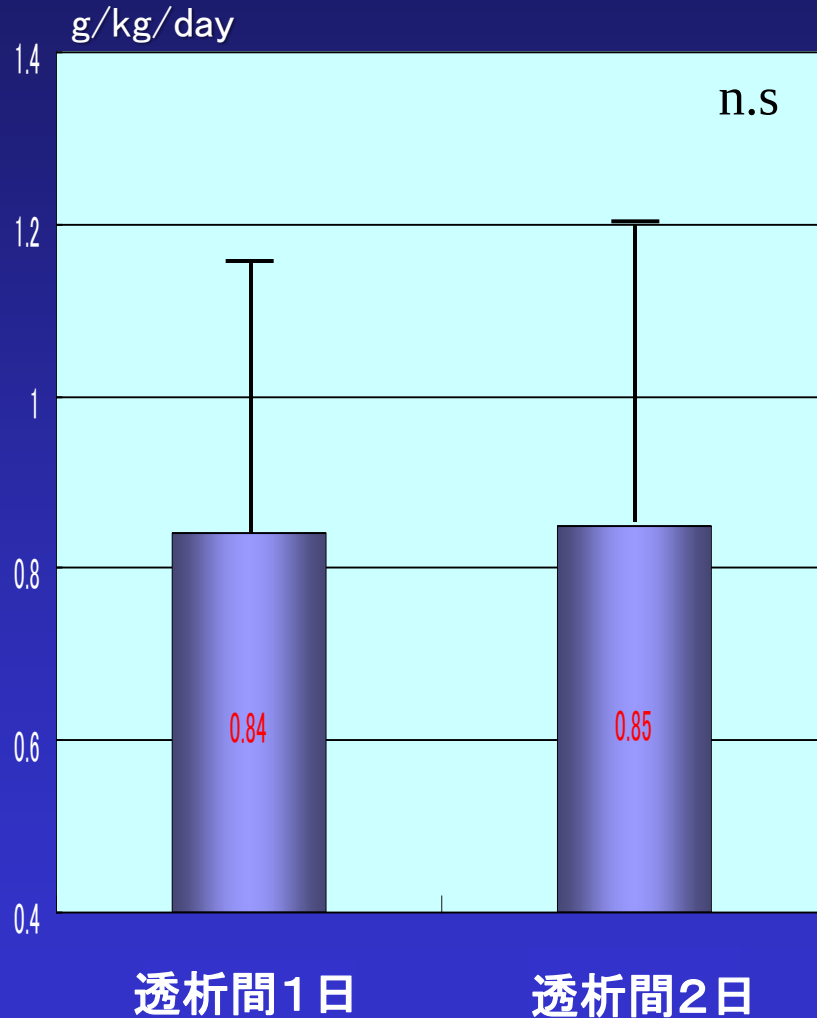
- A群(2%体重減少)はB群に対して、nPCR・摂取カロリーが有意に低く、体重減少は栄養摂取量不足によるものと考えられた。
- A群はB群に対して、GNRIが低い傾向にあり、比較的低栄養状態にある可能性が示唆された。
- 両群のリン値・Hb値に有意差が無かったのは、栄養状態よりリン吸着剤やESAによる影響が大きかったためと思われた。

方法 2

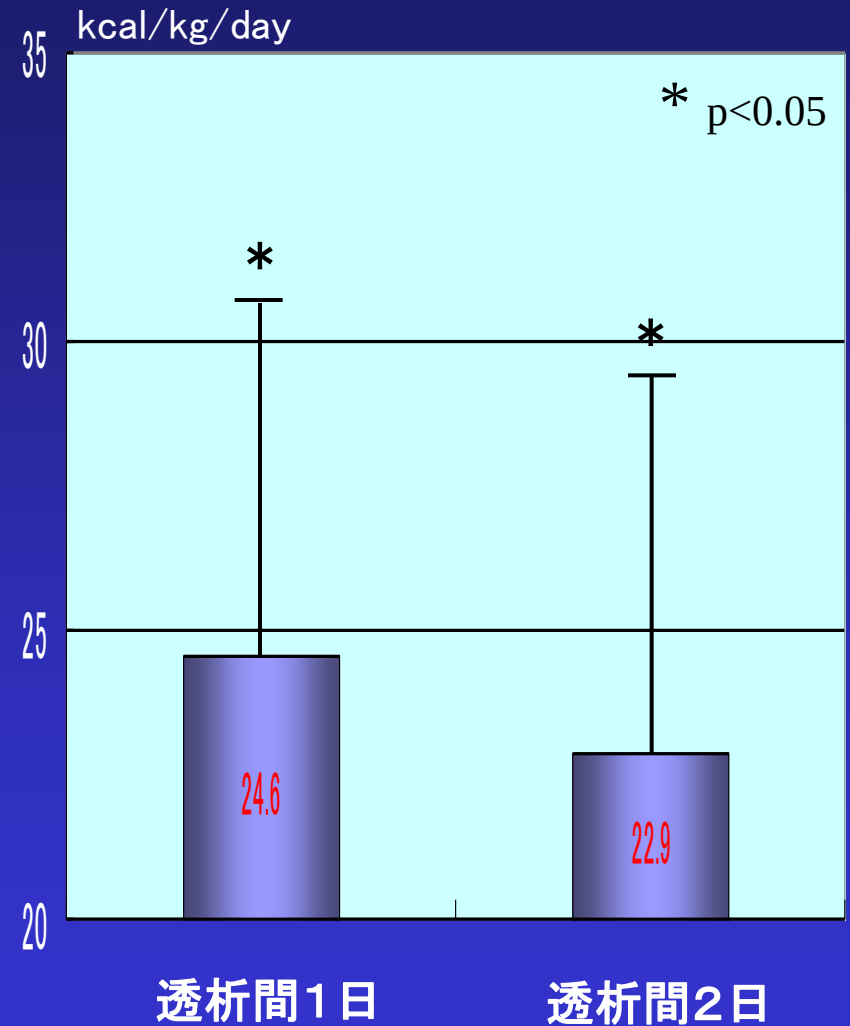
- A群22名の中で賛同を得られた8名に対して食事内容の聞き取り調査を行い、PCR・摂取カロリーを求めた。
- 透析日/非透析日、透析間1日/2日のPCR・摂取カロリーを比較検討した。

透析間1日/2日比較

nPCR

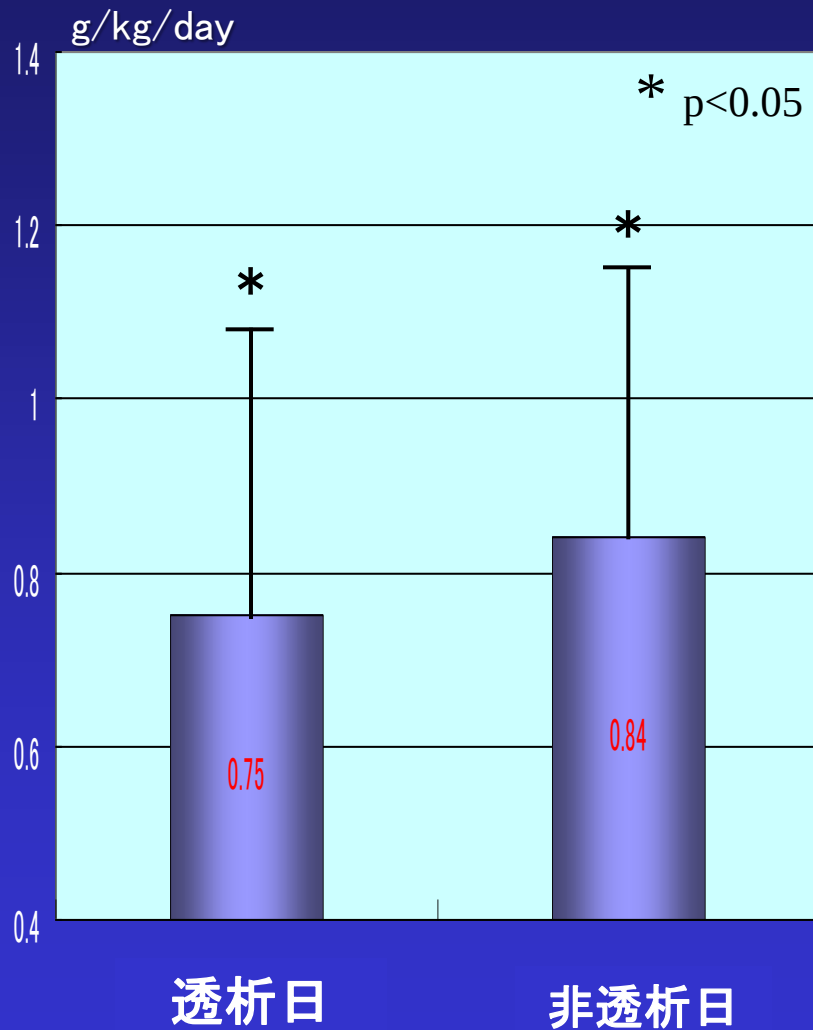


摂取カロリー

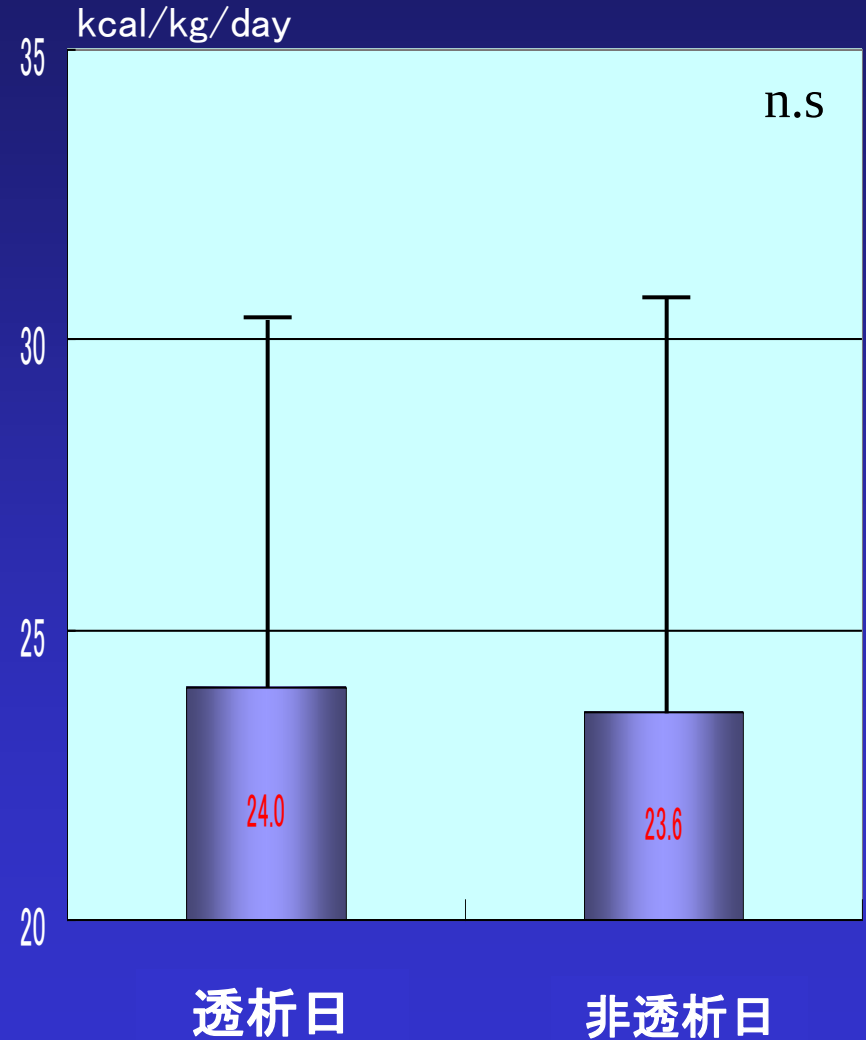


透析日/非透析日比較

nPCR



摂取カロリー



まとめ 2

- 透析間2日では摂取カロリーが有意に少なく、透析日は摂取蛋白質量が有意に少なかった。

- 聞き取り調査の結果より

「透析間2日では体重増加量を抑えるため、通常より食事を制限している」

「透析日の朝は忙しく、簡単な食事で済ませている」

「透析日は昼食摂取時間が遅くなり、夕食が摂取し辛い」

「透析後の疲労感で食欲が無い」 etc

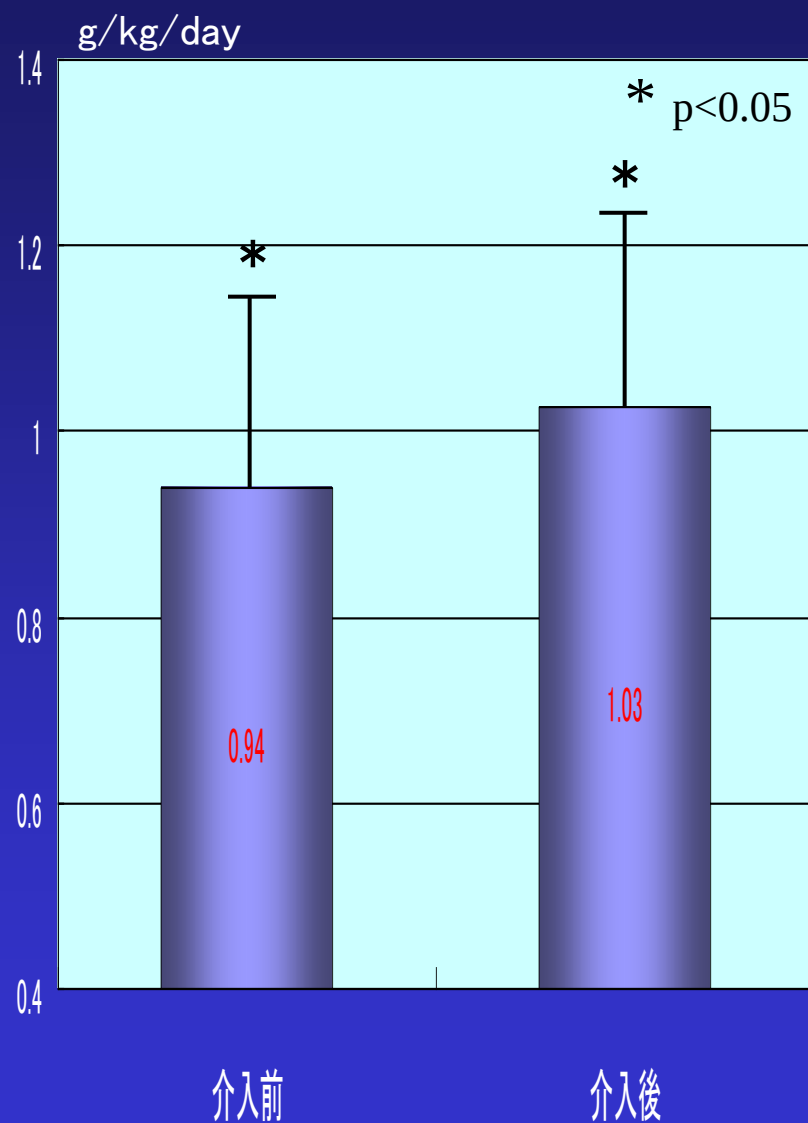
方法 3

- 方法2の8名に対して食事指導と透析条件の見直しを行い、4ヵ月後の各種パラメーターについて比較検討した。
- 主な食事指導内容
検査結果や透析間体重増加量を気にしないこと。
炭水化物を積極的に摂取すること。
透析前の食事は十分に摂取する事。 etc

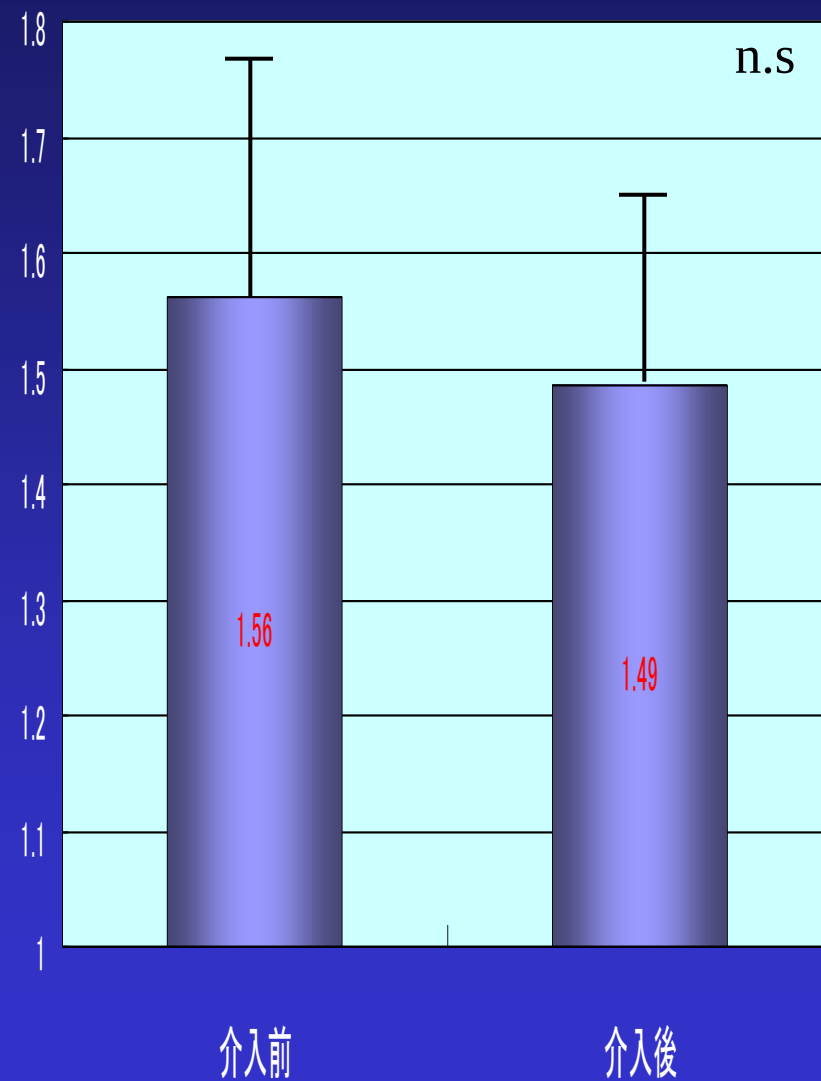
透析条件の変更点

年齢	M/F	変更前	変更後
60代	M	V 型2.1/QB220/QD400	V 型2.5/QB150/QD300
60代	F	IV 型1.7/QB150/QD400	V 型2.1/QB150/QD300
50代	F	V 型1.9/QB220/QD400	IV 型2.1/QB150/QD300
70代	F	V 型1.5/QB150/QD400	V 型2.1/QB120/QD300
60代	F	IV 型1.3/QB150/QD400	V 型1.5/QB120/QD300
60代	F	V 型1.7/QB220/QD400	V 型1.7/QB180/QD300
70代	M	V 型1.7/QB200/QD400	V 型1.7/QB200/QD300
70代	M	V 型1.5/QB170/QD400	V 型1.5/QB170/QD300

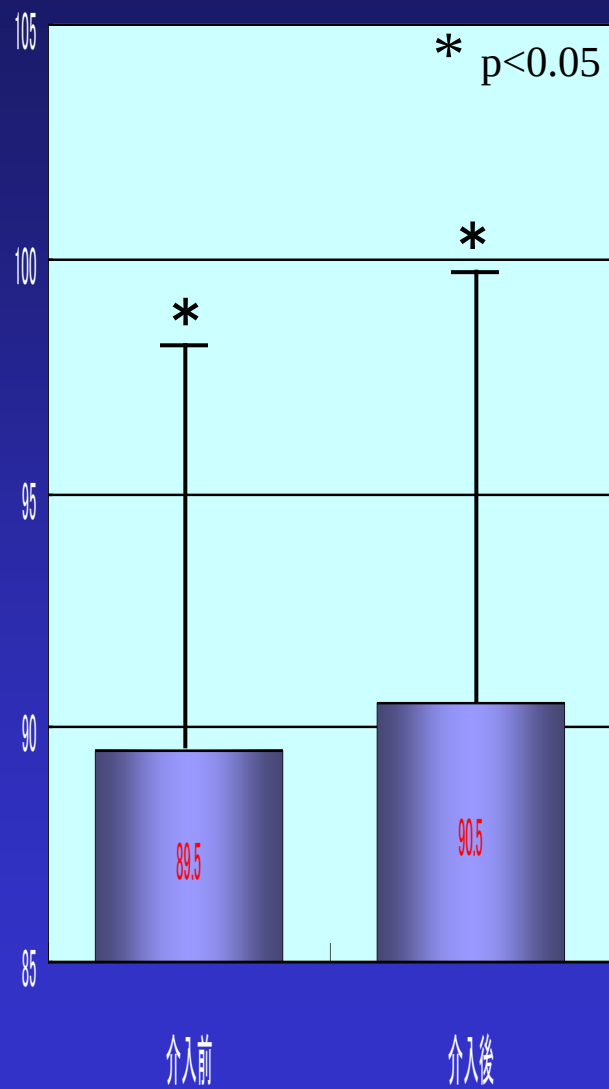
nPCR



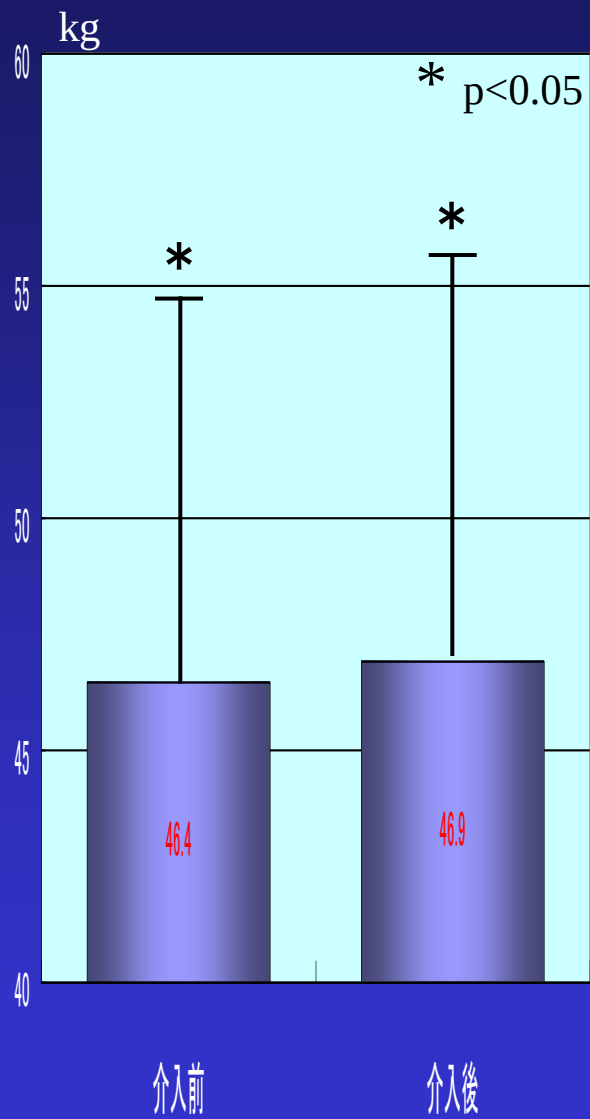
Kt/V



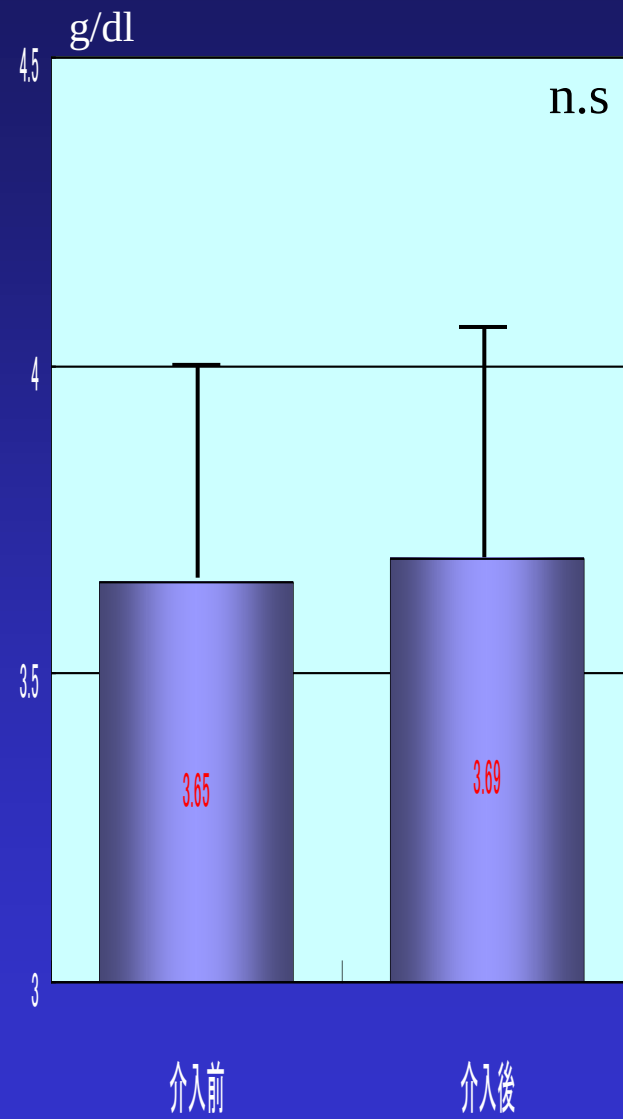
GNRI



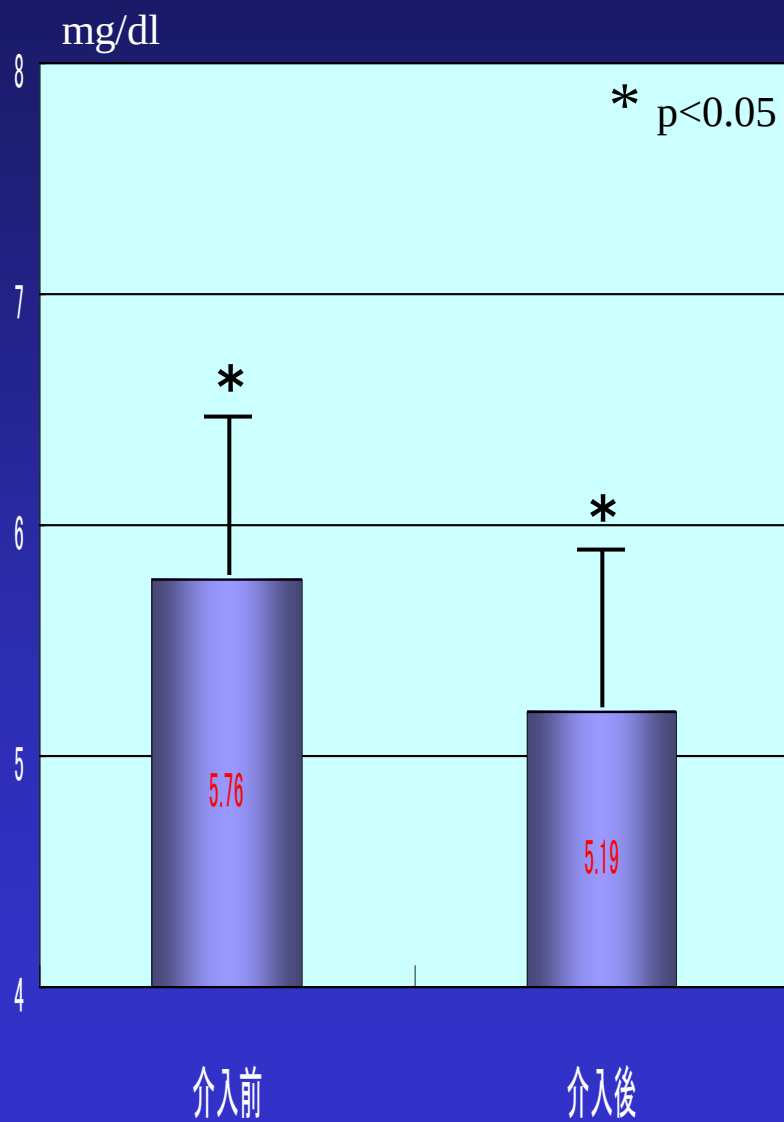
体重



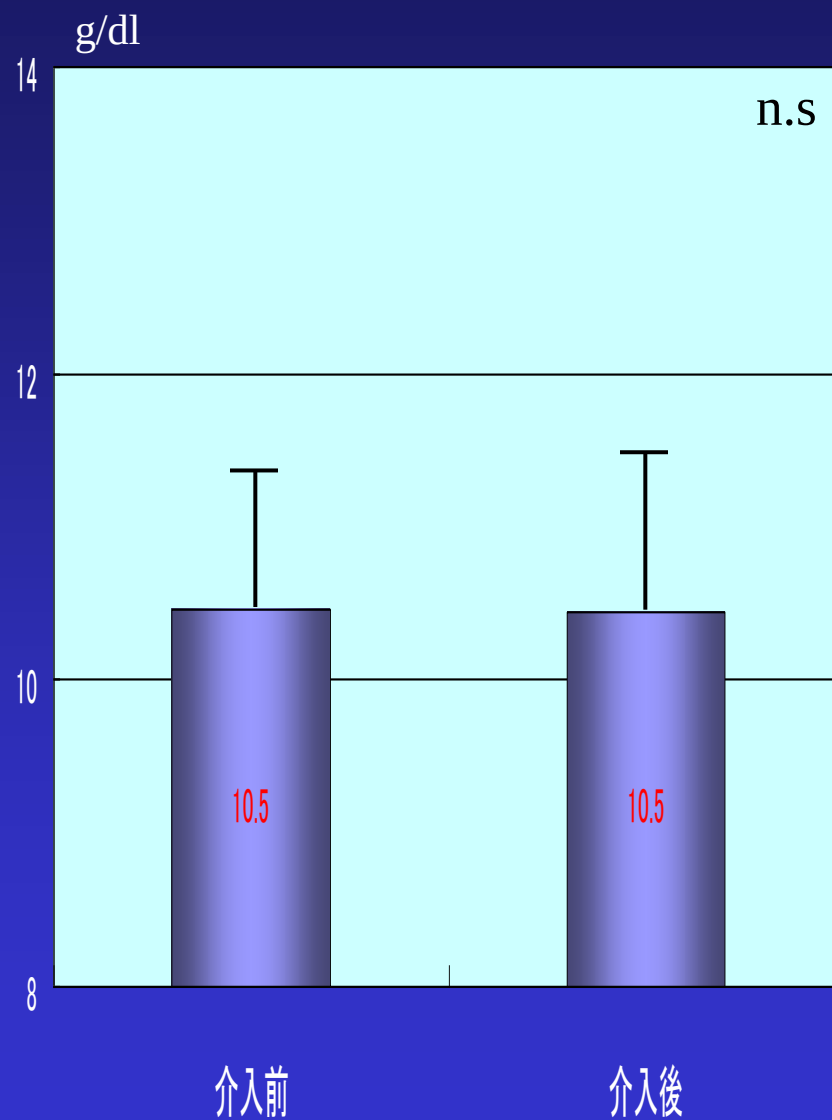
Alb



IP



Hb



まとめ 3

- 栄養指導開始後4ヵ月目のnPCRは有意に上昇した。
- GNRIは有意に上昇し、上昇の要因は主に体重増加によるものだった。
- 栄養摂取量が増加しても、透析条件の見直しと栄養指導の結果、リン値は有意に低下した。

結語

- 透析患者の体重減少は栄養摂取量不足により起き、一部の患者では検査データや透析間体重増加量を気にするあまり、過度の食事制限を行っている場合がある可能性が示唆された。
- 積極的な栄養摂取と透析条件の見直しで、体重減少の防止と各種パラメーターの改善が可能であることが確認できた。

日本透析医学会 COI 開示

筆頭発表者名: 内田 広康

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある
企業などはありません。